

【過去の夜の講座 一覧】

年度	開催日	名称	講師 (役職は当時のもの)	参加人数
平成 25 (2013)	5. 23	石鎚山系の人とけもの	山本貴仁(NPO法人西条自然学校代表)	25
	6. 21	久万高原の人とさかな	清水孝昭(愛媛県水産研究センター栽培資源研究所主任研究員)	20
平成 26 (2014)	5. 23	愛媛と久万高原のタンポポ	松井宏光(NPO法人森からつづく道代表)	18
	6. 19	愛媛と久万高原のセミ	今川義康(NPO法人西条自然学校スタッフ)	28
	10. 2	狸夜話～四国と久万高原のタヌキについて～	谷地森秀二(NPO法人四国自然史科学研究センター代表)	54
	11. 20	ジャコの話～久万高原のカメムシについて～	面河山岳博物館学芸員	61
平成 27 (2015)	5. 15	石鎚山系の地形	山本貴仁(NPO法人西条自然学校代表)	45
	6. 18	久万高原のクワガタムシ	山岳博物館学芸員	40
	7. 30	久万高原の両生類	山岳博物館学芸員	28
	9. 16	カメムシの話	山岳博物館学芸員	26
	10. 6	四国のコウモリ	谷地森秀二(NPO法人四国自然史科学研究センター代表)	45
	11. 11	久万高原の鉱物	皆川鉄雄(元愛媛大理学部教授)	83
平成 28 (2016)	4. 15	愛媛と久万高原の藻類	小林真吾(愛媛県総合科学博物館学芸員)	18
	5. 11	四国と石鎚のソウシチョウ	金城芳典(認定NPO法人四国自然史科学研究センター研究員)	38
	6. 15	久万高原の森と人	本藤幹雄 (中予山岳流域林業活性化センター研究員)	48
	10. 28	身近な危険生物	山岳博物館学芸員	40
	11. 30	久万高原の地質	千葉 昇 (県立東予高等学校長、元県科博学芸課長)	35
平成 29 (2017)	4. 26	四国のツキノワグマ	山田孝樹(認定NPO研究員)	48
	5. 11	愛媛の外来哺乳類・鳥類	山本貴仁(NPO法人西条自然学校代表)	39
	6. 15	木の香りと人の暮らし	中川美幸(県職員)	33

	9. 29	コケの話	小島裕美（県立高校教員）	56
	10. 27	愛媛と久万高原のキノコ	小林真吾（県科博学芸員）	39
平成 30 (2018)	4. 6	愛媛と久万高原のサクラ	西原寿明（県職員）	39
	5. 30	愛媛と久万高原の田んぼの生き物	村上裕（県職員）	51
	6. 29	獣を知って獣から守る	葦田恵美子（NPO 法人職員）	53
	9. 19	愛媛と久万高原のトンボ	武智礼央（トンボ学会会員）	31
	10. 13	ハエトリグモの話	須黒達巳（クモ学会会員）	62
	11. 30	古い絵葉書とパンフレットでたどる 面河溪の観光開発	博物館学芸員	16
平成 31 (2019)	5. 28	愛媛の外來生物	村上 裕（県職員）	37
	6. 11	カメラがとらえた愛媛と久万高原の ホテルと星空	北添伸夫（プロカメラマン）	51
	10. 30	久万高原の無居住化集落の話	渡邊敬逸（愛媛大准教授）	40
	11. 26	くらしの中のへび	山路稜子（地域おこし協力隊員）	71
	12. 4	鉱物入門	西尾憲二（愛媛石の会 会員）	45

【過去のチラシ】平成 25 年度

石鎚山系の人とけもの

◎日時:2013年5月23日(木)19:00~21:00

◎場所:久万高原駅やまなみ2F研修室

久万高原町の自然の豊かさを象徴する存在といえる毛豚は、ここは繁殖地で冬もよく活動が確認され、西日本では稀な北限分布地であるといふ特徴が確認されており知られています。一方で、冬から入りが生息の場として利用してきています。近年の環境変化や林業、畜産が盛んに行われ、層層剥ぎ取られ、人の生活が遠ざかると、環境では、久万高原町を舞台とした自然環境では毛豚の存在、かつての生活の場や動物は巨大な人工物に近づいています。今回の講義では、自然環境に生息する動物の生態や生活の場について、動物の生態、観察方法、観察場所から得られる情報により解説します。自然と私たちの暮らしの結びつきについて考えてみましょう。

講師: 山本道太郎先生
「日本動物学会動物学、動物学専攻主任」
社 長: 久万高原町やまなみ公民館、町に観光し楽しむ会
「動物多様性について学ぼう」の立ち上げ者
石鎚町長 46 名の町
新 任: 倉田 雅樹
新 任: 山本道太郎先生、山本道太郎先生(2013年)
所 在: 山本道太郎先生、久万高原町やまなみ公民館(新 任)
電 話: 0892-21-1111(代)
FAX: 0892-21-0322

※本事業は自然環境の豊かさを示す自然環境多様性調査の一環として久万高原町と共催で開催するものです。

久万高原の人とさかな

◎日時:2013年6月21日(金)19:00~20:30

◎場所:久万高原駅やまなみ2F研修室

サケ科イサナ属イサナ科
久万高原町やまなみ公民館(新 任)
新 任: 山本道太郎先生、久万高原町やまなみ公民館(新 任)
電 話: 0892-21-1111(代)
FAX: 0892-21-0322

この講座では、久万高原町における魚類の生態状況や漁業資源といった経済利用などについて、現地調査や文献、聞き取りなどから得られた情報により解説します。暮らしに身近な川にすむ魚を巡って、自然と私たちの暮らしの結びつきについて考えてみましょう。

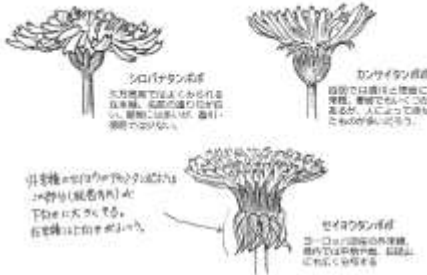
☆久万高原町の川にはどんな魚がいるのか？
☆増えた魚、減った魚
☆魚の卵、イワメについて
☆久万高原にすむ外来種のドジョウ

講師: 山本道太郎先生
「動物学専攻主任」
所 在: 山本道太郎先生、久万高原町やまなみ公民館(新 任)
電 話: 0892-21-1111(代)
FAX: 0892-21-0322

※本事業は自然環境の豊かさを示す自然環境多様性調査の一環として久万高原町と共催で開催するものです。

平成 26 年度 面河山岳博物館 生物多様性保全推進事業
夜の講座「愛媛と久万高原のタンポポ」

タンポポに何種類もあるなんて聞いたことありますか？
身近な植物が分属からやってくるタンポポの仲間について知ってほしいかな？
この講座では愛媛と久万高原に見られるタンポポの種類のほか、タンポポの生態の謎と「タンポポの生態の謎」として紹介いたします。
また、今年と来年に実施される「愛媛と久万高原の自然観察」の開催の経緯についてもご紹介し、実際の自然観察の場や見どころのポイントを案内させていただきます。
入場無料で見るタンポポは私たちの暮らしに大きな影響を及ぼし、農産物に害を及ぼすこともありますが、どこどこにタンポポがいて、それが何という種類のタンポポか、10 年後 50 年後の未来に、我が国の自然の姿を写すことは、これから自然をどう利用していくかを考える上で大切なことではございません！



- ◎日 時：4月24日(木) 19:00～20:15
- ◎場 所：久万高原駅やまなみ2F 研修室(久万高原駅より 202-3)
- ◎講 師：松井宏光先生(愛媛大学農学系、NPO 農からつづき代表)
- ◎参加費：無料
- ◎参加方法：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館(担当/矢野)
電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2136

※本事業は愛媛県自然環境課の「愛媛県の生物多様性の保全・啓発事業」と共催しています。

平成 26 年度 面河山岳博物館 生物多様性保全推進事業
夜の講座「愛媛と久万高原のセミ」

夏には 14 種のセミがいますが、ここ久万高原には、そのうちのヒメハルゼミだけのぞいた 13 種が生息しています。なぜ、こんなに多くの種類が久万高原にはいるのでしょうか？そして、なぜヒメハルゼミのいないのでしょうか？これには久万高原の森林環境や気候が大きく関係しています。
この講座ではセミの生態や生活史、愛媛と久万高原に生息するセミについて自分自身で観察していただきます。セミの存在を通して、地域の自然を知る機会となります。



- 【内容】
- ◎愛媛のセミ 14 種について
 - ◎増えているセミ、珍しいセミ
 - ◎セミの発音の仕方、鳴き分けの仕方
 - ◎久万高原にはなぜセミが多いか？
 - ◎セミの羽の構造、抜け殻の構造

- ◎日 時：6月19日(木) 19:00～20:20
- ◎場 所：久万高原駅やまなみ2F 研修室(久万高原駅より 202-3)
- ◎講 師：今川龍康先生(西条自衛学校スタッフ)
- ◎参加費：無料
- ◎参加方法：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館(担当/矢野)
電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2136

※本事業は愛媛県自然環境課の「愛媛県の生物多様性の保全・啓発事業」と共催しています。

【面河山岳博物館・夜の講座】
たぬき よげなし
狸夜話
～四国と久万高原のタヌキについて～

この講座では哺乳類の専門家をお招きし、四国や久万高原にすむタヌキについて、その生態や久万高原にも生息するタヌキ伝説などをテーマに、分かりやすくお話しさせていただきます。
身近な存在であるタヌキを通して、地域の自然を知るまたとない機会です。お楽しみに！



- 【内容】
- ◎タヌキってどんな動物？
 - ◎どこで棲て、何を食べる？
 - ◎なぜ交通事故が多いの？
 - ◎どんな生態習性があるの？
 - ◎四国、久万高原のタヌキ伝説

- ◎日 時：10月2日(木) 19:00～20:15
- ◎場 所：久万高原駅やまなみ2F 研修室(久万高原駅より 202-3)
- ◎講 師：各地森秀二さん(愛媛NPO法人四国自然史科学研究所代表)
- ◎参加費：無料
- ◎参加方法：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館(担当/矢野)
電話：0892-58-2130
FAX:0892-58-2136



【面河山岳博物館・夜の講座】
ジャコの話
～久万高原のカメムシについて～

駅になると、たくさん家に入ってきて「くさい」「きちわるい！」と嫌がられているジャコ(クサキカメムシ)。広く見られるわりには、どこでどんな暮らしをしているのかがあまり知られていません。
この講座では、ジャコの生態や分類、家に集まるメカニズムなどについて、分かりやすくお話しします。また、日本に 1300 種以上生息するカメムシについて、主に久万高原で見られる種類を中心にさまざまな「カメムシ科学」を紹介します。
身近な存在であるジャコ、カメムシを通して、地域の自然を知るまたとない機会です。お楽しみに！



- 【内容】
- ◎ジャコってどんな虫？なんで多いの？
 - ◎何を食べる？どこにすむ？
 - ◎なぜ秋に飛んでくる？捨てるの？
 - ◎久万高原の珍しいカメムシ、外来種
 - ◎鳴く、跳す、隠す、泳ぐカメムシ
 - ◎カメムシを食べて大丈夫？などなど

- ◎日 時：11月20日(木) 19:00～20:15
- ◎場 所：久万高原駅やまなみ2F 研修室(久万高原駅より 202-3)
- ◎講 師：面河山岳博物館学芸員
- ◎参加費：無料
- ◎参加方法：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館(担当/矢野)
電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2136

平成 27 年度 面河山岳博物館 生物多様性保全推進事業
夜の講座「石鎚山系の地形」

動物物の宝庫として有名な石鎚山ですが、登山者の目当てはそれだけではありません。高度によって様々な動植物を見ることが出来るのは、北陸の西端や東海道の深谷美奈と、その最大な標高は季節を問わず私たちを魅了します。

これらを生み出す地形は、1500 万年前に活動した石鎚火山によってできたもので、と書かれても、道の途中の景観がどうやってできたかなんて、なかなかイメージが湧きません。そこで今回の講座では登山者の視点で、石鎚の地形の長所や観察ポイントや立ち回りなどを紹介します。私たちが歩いている道面の石が何からできているのか？なんて石鎚はあんなに美しいのか？なんて素晴らしいのはササバツクリ鳥の？ 選んでみれば不思議な〜という地形の歴史を聞いてみましょう！



◎日 時：2015 年 5 月 15 日(金) 19:00～20:20
◎場 所：久万高原駅やまなみ 2F 研修室(A 方面駅より 203-3)
◎講 師：山本貴仁 (NPO 法人西条自然学校代表)
◎参加費：無料
◎定 員：50 名
◎参加方法：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館(担当/矢野)
電話：0992-58-2130 FAX：0992-58-2136

平成 27 年度 面河山岳博物館 生物多様性保全推進事業
夜の講座「久万高原と愛媛の両生類」

両生類は日本から 78 種 (10 種を絶滅) が知られていますが、そのうち約 83% が日本固有種 (特産) です。このことは日本が固有種に富み、多様な自然環境に恵まれていることを証明しています。

両生類はその名の通り、「水境」と「陸境」の両方なくては生きていけません。つまり両境を暮らしていることから和名に「両」が入り、自分でできる環境に強く依存している動物です。今回の講座では、久万高原に生息する両生類の種類や生活などについて解説します。いろいろな両生類から選んだ山岳両生類のことを理解していただく機会になります。



◎日 時：2015 年 7 月 30 日(木) 19:00～20:10
◎場 所：美川農村博覧会センター 2F 研修室(A 方面駅より 2928-1)
※久万高原駅(後援美川方面駅より 2928-1)
◎講 師：面河山岳博物館 学芸員
(蛙エンジェルジュが分かりやすく解説します！)
◎参加費：無料
◎定 員：50 名
◎参加方法：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館(担当/矢野)
電話：0992-58-2130 FAX：0992-58-2136

平成 27 年度 面河山岳博物館 生物多様性保全推進事業
夜の講座「久万高原のクワガタムシ」

ミヤマ、ノコギリ、アカアサ、という久万高原ではよく見るクワガタムシですね。どんな姿をしているのか、すぐに採集される人も多いのでは、では、マダコ、ムリ、ツヤバダといふのはどうでしょう？？？ 水、それってクワガタムシなの？ と疑問を抱く方はぜひ参加しましょう。

資料館には 18 種のクワガタムシが展示していますが、久万高原からはそのうちの 14 種が採集されています。小豆サイズの小さなマダコクワガタ、舌が鋭く長い、長く長く伸びたクワガタ、繁殖期からは 20 年近く育つのではないツヤバダクワガタなど、興味深い種類が多い種が採集されています。今回の講座では早速久万高原のクワガタムシを紹介し、採集の意欲を高めることを目指していただけると思います。



◎日 時：2015 年 6 月 18 日(木) 19:00～20:10
◎場 所：久万高原駅やまなみ 2F 研修室(A 方面駅より 202-3)
◎講 師：面河山岳博物館 学芸員
◎参加費：無料
◎定 員：50 名
◎参加方法：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館(担当/矢野)
電話：0992-58-2130 FAX：0992-58-2136

【面河山岳博物館・夜の講座】

カメムシの話

～ジャコのくらしを調べてみよう！～

最近になると、たくさん家に入ってきて「くさい」「きついわい」と嫌がられているジャコ(オオサンショウウオ)が、たくさん見られるのは、どこでどんな暮らしをしているのかあまり知られていません。

この講座では、ジャコの生態や家の中に入ってくる方法などについて、分かりやすくお話しします。また、ペコヤコで作ったジャコを捕めるワナ「ジャコホイホイ」を使って、ジャコの活動時期や家の中に入ってくる場所などを調べる方法を紹介します。ジャコホイホイを使えばある程度は家の中に入ってくる数が減らせます！

ジャコ調査員として協力いただける方、ぜひ参加してください！



◎日 時：9 月 16 日(水) 19:00～20:15
◎場 所：久万高原駅やまなみ 2F 研修室(A 方面駅より 202-3)
◎講 師：面河山岳博物館学芸員
◎参加費：無料
◎参加方法：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館(担当/矢野) ☎電話：0992-58-2130 ☎FAX：0992-58-2136

【面河山岳博物館・夜の講座】

久万高原の鉱物

この講座では岩石・鉱物の専門家をお招きし、久万高原にみられる美しい鉱物や珍しい鉱物などをテーマに、分かりやすくお話ししていただきます。
久万高原からは魚鱗石や流石類、紅葉石、水晶といった様々な鉱物が産出します。足元や目の前の山に隠れた鉱物の世界を通して、地域の自然を知るまたとない機会です。お楽しみに！

【内容】
◎鉱物ってなに？
◎久万高原の美しい鉱物
◎世界に誇る珍しい鉱物
◎久万高原になぜこんな鉱物が？
◎鉱物採集の方法、注意点



◎日 時：11月11日(水) 19:00~20:30
◎場 所：久万高原駅やまなみ2F 研修室(久万高原町久万 202-3)
◎講 師：皆川鉄雄先生(元愛媛大学理学部教授)
◎参加費：無料
◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館(担当/矢野) ☎電話：0892-58-2130 ☎FAX：0892-58-2136

【面河山岳博物館・夜の講座】

四国のコウモリ

この講座では哺乳類の専門家をお招きし、四国や久万高原にすむコウモリについて、種類や生態、調査の方法などをテーマに、分かりやすくお話ししていただきます。

なんと、コウモリの翼は「手」なんです！！びっくり！
知っているようで知らないコウモリの世界を通して、地域の自然を知るまたとない機会です。お楽しみに！

【内容】
◎コウモリって鳥？哺乳類？
◎どこで暮る？何を食べる？
◎洞窟でもなぜぶつからない？
◎コウモリの暮れ方
◎四国、久万高原にすむコウモリ



◎日 時：10月6日(火) 19:00~20:10
◎場 所：久万高原駅やまなみ2F 研修室(久万高原町久万 202-3)
◎講 師：谷地森孝二さん(認定NPO法人四国自然史科学研究所センター長)
◎参加費：無料
◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館(担当/矢野) ☎電話：0892-58-2130 ☎FAX：0892-58-2136

平成 28 年度

【面河山岳博物館・夜の講座】

四国と石鎚のソウシチョウ

ソウシチョウという鳥を知っていますか？大きな声はスズメほどで、赤や黄色など鮮やかに彩られた、鳴き声も美しい野鳥です。なんとかわいらしいこの野鳥が、現在、日本各地で分布を拡大している「外来生物」として問題になっています。

元々の生息地は中国南部からベトナム・インドなど。ペットとして国内に持ち込まれたものが逃げ出したとされています。最近では1990年代から同種個体があり、今では石鎚山系でこの種に足られる個体数が増えています。これから町内各地で目にする機会が増えてくることでしょう。

この講座では四国のソウシチョウを長年追い続けている専門家をお招きし、外来生物の調査方法などをテーマに、分かりやすくお話ししていただきます。
じわじわと広がるソウシチョウの生息域の自然の現状を知るまたとない機会です。お楽しみに！

【内容】
◎外来生物とは？
◎ソウシチョウってどんな鳥？
◎四国、石鎚山系の生息状況
◎外来生物に対する対策
◎四国の貴重な外来生物
◎これからやってくるかもしれない外来生物
◎外来生物に対する取り組み



◎日 時：平成 28 年 5 月 11 日(水) 19:00~20:10
◎場 所：久万町民館研修室 ※久万高原町役場横
(愛媛県上野穴部久万高原町久万 188)
◎講 師：金城 芳典さん
(認定NPO法人四国自然史科学研究所センター 副センター長)
◎参加費：無 料
◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館(担当/矢野) ☎電話：0892-58-2130 ☎FAX：0892-58-2136

【面河山岳博物館・夜の講座】

久万高原の森と人 ～くらしがつくる森の形～

久万高原には石鎚山をはじめ、大川谷や谷など標高1,000mを超える地域に、樹木では珍しいブナの自然林が残っています。ブナやマヒ、カエデなど日本が益沢森林内を多くと、そこは動物のまぶたの森を創るためにも残ります。しかし、実際には石鎚山でさえ、そのかなり面積が過去に伐採など人間活動の影響を受けてきました。

スギ・ヒノキの人工林、薪木を中心とした里山に勝らず、高山も実は人間によって作られてきたといっても過言ではありません。久万高原の誇る「大自然」とは一体何を指しているのでしょうか？

この講座では、久万高原における林業を中心とした人と自然の歴史について、過去 300 年間の自然の移り変わりを分かりやすくお話しします。
身近な地域の自然の過去・現状を知り、未来を考えるまたとない機会です。お楽しみに！

【内容】
◎久万高原の歴史について
◎山が少なかった100年前
◎里山・薪谷・薪谷の林業の歴史
◎石鎚山系の森林の歴史
◎木の間について
◎紅葉の森はなぜあつた？
◎これから山と人のつながり



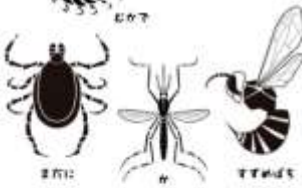
◎日 時：平成 28 年 6 月 15 日(水)19:00~20:10
◎場 所：久万高原町産業文化会館研修室 ※久万高原町役場横
(愛媛県上野穴部久万高原町久万 188)
◎講 師：本藤 幹雄さん(中予山岳環境林業活性化センター 特別研究員)
◎参加費：無 料
◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館(担当/矢野) ☎電話：0892-58-2130 ☎FAX：0892-58-2136

【面河山岳博物館・夜の講座】 身近な危険生物

危険生物とはマムシやムカデ、スズメバチ、アブなど、「かんだり刺したりする」「毒をもって」「病気を運ぶ」など、人に危害を加えることのある生き物のこと。自然が多く残っている久万高原には、私たちのよく身近な場所にもこれら危険生物がかくさん見られます。



今回の講座ではこれらの生態や体の特徴から、被害を未然に防ぐ方法や被害を受けた際の対処法などを紹介します。正しい知識をもつたうえで正しく怖がる、そんな姿勢で地域の自然とつきあってみましょう！



- 【おまな内容】
- スズメバチの巣分け方
 - マダニってどんな危険生物？
 - マダニやスズメバチから身を守る方法
 - ムカデを家に入れないようには？
 - あぶない虫歯への対処法
 - あへどの見分け方、もし咬まれたらどうする？

◎日 時：平成 28 年 10 月 28 日(金) 19:00～20:10
 ◎場 所：面河住民センター3 階ホール
※久万高原町役場面河支所となり(愛媛県上野穴郡久万高原町 2431)
 ◎講 師：面河山岳博物館学芸員
 ◎参加費：無 料
 ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2138

【面河山岳博物館・夜の講座】 久万高原の地学散歩

この講座では面河の専門家を訪問し、自然カルストや古岩盤、御三戸、玉川溪、石輪山など久万高原の語るべき名所について、地層や岩石がどのようなことであるか、その歴史や特徴について、分かるやすくお話ししていただきます。見られたいつもの風景、そこに隠れた石たちの歴史を通して、地域の自然を語る新たな機会です。お楽しみに！



- 【内容】
- ◎面河川の湧石、その意味は？
 - ◎どこまで見つかると有孔虫化石？
 - ◎久万川は地層化石の宝庫
 - ◎石輪山の地層はどいつだった！
 - ◎石輪山と御三戸の石
 - ◎御三戸とカルスト
 - ◎湧石って、どんな石？

◎日 時：平成 28 年 11 月 30 日(木)19:00～20:20
 ◎場 所：久万高原町産業文化会館研修室 ※久万高原町役場横
(愛媛県上野穴郡久万高原町久万 188)
 ◎講 師：千葉 勇さん
(愛媛県立真子高等学校長、前愛媛県総合科学博物館学芸員)
 ◎参加費：無 料
 ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館(真山/夜野) 電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2138

平成 29 年度

【面河山岳博物館・夜の講座】 四国のツキノワグマ

瀬戸内とその周辺を主産地とする四国のツキノワグマは、黒色の生体個体が数十個程度といわれ、国内で最も絶滅の危険性が高い哺乳類種と考えられています。愛媛県では 1972 年に伊予市で捕獲されたオスを最後に、確実な生息の記録が確認できていません。しかし、石輪山系や鬼ヶ嶺山系では不確定ですが毎年のように目撃情報があり、まだまだ絶滅してしまっただけではないようです。



この講座ではツキノワグマの専門家をお招きし、生息や四国の生息状況、保全のための課題などをテーマに、分かりやすくお話ししていただきます。誰でもおなじみ知っているものの、四国でその姿を見ることのない謎多き哺乳類ツキノワグマについて学んでみませんか？



- 【内容】
- ◎四国各地のツキノワグマは生息状況
 - ◎市街と、足跡など生息の状況
 - ◎ツキノワグマに出会ったらどうする？
 - ◎ツキノワグマは「絶滅危惧種」なのか？
 - ◎愛媛、石輪山系に生息しているのか？
 - ◎ツキノワグマが生息できる環境とは？

◎日 時：平成 29 年 4 月 26 日(木) 19:00～20:20
 ◎場 所：久万高原町産業文化会館研修室 ※久万高原町役場横
(住所/上野穴郡久万高原町久万 188)
 ◎講 師：山田孝樹さん(愛媛 NPO 法人自然生態科学研究所センター主任研究員)
 ◎参加費：無 料
 ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2138

【面河山岳博物館・夜の講座】 愛媛の外来哺乳類・鳥類

外来生物とは、『ちとちとその地域にはいなかったのに、人間活動によって外国や国内の他の地域から入ってきた生物』をいいます。現在、愛媛県からは外来生物の哺乳類が 15 種、鳥類が 33 種確認されています(定着していない種を含む)。そのうちアライグマとソウシヤウウが生態系、人の健康あるいは農林水産業に特に重大な影響を及ぼす種として「特定外来生物」に指定されています。

この講座では愛媛県内で問題になっている外来哺乳類と鳥類について、その生態や生息状況、愛媛の自然や私たちの生活への影響などをテーマに、分かるやすくお話しします。知らない頃に身近な存在になりつつある外来生物について学んでみましょう！

- 【内容】
- ◎どんな外来哺乳類と鳥類がいる？
 - ◎特定外来生物 2 種の見分け方
 - ◎どんなところで、何を食べる？
 - ◎私たちにどんな影響があるのか？
 - ◎これから入ってくるかもしれない種類
 - ◎外来生物を見つけたら？



◎日 時：平成 29 年 5 月 31 日(水) 19:00～20:20
 ◎場 所：久万高原町産業文化会館研修室 ※久万高原町役場横
(住所/上野穴郡久万高原町久万 188)
 ◎講 師：山本貴仁さんの PPO さん(高松大学准教授)
 ◎参加費：無 料
 ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2138

【面河山岳博物館・夜の講座】

木の香りと人の暮らし

林業の間、久万高原には木造町や新垣町など、木材を多く使用した建物があふれます。これから本法建築物に一歩足を踏み入れると、なんだか温かな気分になりませんか？美しい木目を見て、美観だなーと思うかもしれませんが木の柔らかな感触や香りも、人への印象をなせるだけではなく、実際にリラックス効果があることが分かっています。また、窓内の湿度変化を緩和させ、快適性を高めるといった優れた性質ももっています。

今回の講座では森林研究センターの研究員さんに「木の香り」に絞ってお問い合わせいただき、香りの正体や気味、木材加工の際の香りを授け工夫など、木を思いにくなる知識が盛りだくさんです。木材の歴史と面白さを知る60分、お楽しみに！



- 【主な内容】
- 木の香り、樹の香りについて（成分など）
 - 乾燥させた木材の香り
 - 木材の香りと匂い（研究例やその測定方法）
 - その他の木材と匂い・快適性に関すること

- ◎日 時：平成 29 年 6 月 27 日(火) 19:00～20:20
◎場 所：久万高原町まちなか文芸館展示室
（住所／上平穴路久万高原町久万 134 電話／0892-21-2013）
◎講 師：中川美幸さん（森林研究センター研究員）
◎参加費：無 料
◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2138

【面河山岳博物館・夜の講座】

コケの話

コケは私たちにごく身近な存在です。しかし、一体なんの仲間なのか、どんな暮らしをしているのか、どれくらい生きるのが、ほとんどの人が知らないのでは？

今回の講座ではコケの基礎や身近な種類の名前など、分かりやすくコケ専門家がお話しします。かわいくて気になる存在、コケへの愛を深めましょう。



コシツクコケ (面河町)



オモカゲコケ (面河町)

- 【主な内容】
- コケってどんな生き物
 - 身近なコケの名前
 - 珍しいコケ、ふつうのコケ
 - 観賞の楽しみのおそれのあるコケ
 - コケと私たちの暮らし
- ◎日 時：平成 29 年 9 月 29 日(金) 19:00～20:20
◎場 所：久万高原町産業文化会館研修室 ※久万高原町役場横
（住所／上平穴路久万高原町久万 188）
◎講 師：小島裕美さん（慶徳英立三郎高等学校教員、日本苔苔学会会員）
◎参加費：無 料
◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2138

【面河山岳博物館・夜の講座】

愛媛と久万高原のキノコ

私たちの食卓に欠かせないメタケやエノキなどのキノコ。その野生の姿はスーパーで売られているものとは全く違います。私たちは食材として、イラストやお菓子のモチーフとしてキノコを身近に感じていますが、かわいらしいものの仲間なのか、どんな暮らしをしているのかなど、その奥奥までは気にしていません。

今回の講座ではキノコの基礎や身近な種類の名前など、分かりやすく専門家が話します。かわいくて気になる存在、キノコへの愛を深めましょう。

- 【主な内容】
- キノコってどんな生き物
 - 珍しいキノコ、ふつうのキノコ
 - 久万高原のキノコの種類
 - 愛媛の伝統のおそれのあるキノコ
 - キノコの食べ方
 - キノコの毒、キノコの食べ方



- ◎日 時：平成 28 年 10 月 27 日(金) 19:00～20:20
◎場 所：久万高原町 面河住居センターホール
（住所／上平穴路久万高原町久万 2431 面河支所横）
◎講 師：小林真吾さん（愛媛県総合科学博物館学芸員、愛媛大学菌類学会）
◎参加費：無 料
◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2138

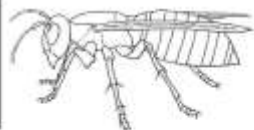
【面河山岳博物館・夜の講座】

久万高原のスズメバチ食文化

身近な生き物、スズメバチ。国内では毎年20～30人がこのハチに刺されて死亡するほどの猛毒昆虫です。しかし、久万高原にはこの猛毒生物を食材として活用する食文化が残っています。スズメバチの卵の採取法、どのように調理するのでしょうか？そして、なぜ刺に耐性強い虫が食べられるのかをぜひお話ししましょう。

今回の講座では久万高原でのスズメバチ食の歴史とその生態について話していきます。スズメバチ採卵の歴史もありです（食べなくてもOK）、ちょっと変わった地域の風土文化まで知ってみませんか？

- 【主な内容】
- スズメバチの生態
 - 久万高原の採卵法
 - スズメバチの卵の調理法、調理法
 - スズメバチの採卵法、調理法
 - スズメバチの採卵法、調理法



- ◎日 時：平成 29 年 11 月 29 日(水) 19:00～20:20
◎場 所：久万高原駅やまなみ 2 階ギャラリー※久万高原町役場の隣
（住所／上平穴路久万高原町久万 202 3）
◎講 師：面河山岳博物館 学芸員
◎参加費：無 料
◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2138

受講申込票(FAX用)

以下に必要事項をご記入の上、印刷後FAXください。いただいた個人情報は厳正に管理し、退席・中止などを要するに限りこの範囲におのみ開示させていただきます。第三者に開示・提供することはありません。

参加者氏名	
住所	県庁所在地までお知らせください。
電話番号	

受講申込票(FAX用)

以下に必要事項をご記入の上、印刷後FAXください。いただいた個人情報は厳正に管理し、退席・中止などを要するに限りこの範囲におのみ開示させていただきます。第三者に開示・提供することはありません。

参加者氏名	
住所	県庁所在地までお知らせください。
電話番号	

【面河山岳博物館・夜の講座】

愛媛と久万高原のサクラ

～分布と遺伝構造からみる地域の生物多様性～



サクラといえは桜類、入学式、花見など、我々日本人にとって最もなじみ深い花のひとつでしょう。お節やお餅と一緒に飾られるのはほとんどがソメイヨシノですが、実は少し山に入るとたくさんの野生のサクラがみられます。

今回の講座では愛媛県森林研究センターの研究員をお招きし、身近な存在なのにその起源や分布、分布の歴史など、数多きサクラの生育を遺伝子解析という手法を通してお話してもらいます。サクラを詳しく知ることで地域の自然の豊かさを、そして多様性が見えてきます。まるでミステリー小説を読み進めるような愛媛のサクラ研究の話を是非お楽しみください！

【主な内容】

- ◎DNAを見える化する（遺伝子を使った研究について）
- ◎サクラがもつ石炭地帯を拓く仕組み
- ◎愛媛のサクラ、自然分布と栽培された品種など
- ◎愛媛で有名なヤマザクラ、オオヤマザクラ
- ◎石鎚で有名なインシシヤサクラの遺伝
- ◎愛媛のヤマザクラ、久万高原にもつく品種と系統とは？
- ◎遺伝子がわかる地域の自然の豊かさ



- ◎日 時：平成 30 年 4 月 6 日（金）19:00～20:20
- ◎場 所：久万高原町民館 会議室
（住所／上津六郎久万高原町久万 188）
- ◎講 師：西原 寿明さん（愛媛県森林研究センター主任研究員 樹木部）
- ◎参加費：無 料
- ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2138

【面河山岳博物館・夜の講座（共催：愛媛県生物多様性センター）】

愛媛と久万高原の 田んぼの生き物

水田はイネを育てる農地ですが、同時にカエルやトンボ、ゲンゴロウなどの生き物にとって重要な生態系にもなっています。農業がしなやかに発展する農地たちの暮らしを支える。そんなことができるのが水田なのです。しかし、イネの稲垣稲穂の稲穂が成長するにつれて水田の生態系は変化しています。稲垣稲穂の稲穂が成長するにつれて水田の生態系は変化しています。稲垣稲穂の稲穂が成長するにつれて水田の生態系は変化しています。



【主な内容】

- ◎お米作りだけじゃない、水田の存在意義
- ◎愛媛のトノサマガエリとオオノボコアガエリ
- ◎久万高原は平地で育ったトノサマガエリの天敵
- ◎イネの稲垣稲穂の稲穂が成長するにつれて水田の生態系は変化しています
- ◎ため池管理と稲垣稲穂の稲穂が成長するにつれて水田の生態系は変化しています
- ◎お米作りだけじゃない、水田の存在意義

- ◎日 時：平成 30 年 5 月 30 日（水）19:00～20:30
- ◎場 所：久万高原町産業文化会館 研修室（住所／上津六郎久万高原町久万 188）
- ◎講 師：村上裕さん（愛媛県生物多様性センター主任研究員）
- ◎参加費：無 料
- ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2138

参加申込票（FAX用）

以下に必要事項をご記入の上、博物館までFAXください。1日1名1組の個人情報は厳正に管理し、印刷・中止など本事業に際するご連絡にのみ使用させていただきます。また、第二欄に欄外 印刷することはありません。

参加者氏名	
住所	住所宛名までがよいません。
電話番号	

【平成 30 年度 面河山岳博物館・夜の講座】

獣を知って獣から守る

～イノシシ・シカ・サルの獣害対策の考え方～

久万高原で問題になっているイノシシやニホンザルなどの獣害とその対策の基本的な考え方について学びます。

獣の生態や行動を学び、人と獣の生活圏の連続性や里山利用の現状を、地域ごとに調べていくと、「獣害人家に寄せ付けられないようにするには何が重要か？」という答えが重要であることが分かります。獣害に、人は里に、「棲み分け」の在り方を考えてみましょう。

【主な内容】

- ◎ニホンザル・イノシシ・コホシの生態
- ◎どんな獣が来る？ 何が来る？
- ◎獣害から人の生活を守るには？
- ◎獣害の防止



- ◎日 時：平成 30 年 6 月 29 日（金）19:00～20:20
- ◎場 所：久万高原町産業文化会館 研修室
（住所／上津六郎久万高原町久万 188）
- ◎講 師：葦田恵美子さん（国立IPPO鳥獣害防除センター研究員）
- ◎参加費：無 料
- ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2138

参加申込票（FAX用）

以下に必要事項をご記入の上、博物館までFAXください。1日1名1組の個人情報は厳正に管理し、印刷・中止など本事業に際するご連絡にのみ使用させていただきます。また、第二欄に欄外 印刷することはありません。

参加者氏名	
住所	住所宛名までがよいません。
電話番号	

【平成 30 年度 面河山岳博物館・夜の講座】

愛媛と久万高原のトンボ

誰でも知っている身近な昆虫のひとつ、トンボ。愛媛県にはなんと 91 種も生息しています。トンボの幼虫（ヤゴ）は水生昆虫です。環境に自然の保たれた環境や河川、池沼などの水田が広がる地域は生きやすい環境で、「田舎環境」となる水田です。田舎環境でトンボが産むということは、ゲンゴロウやカエル、動物などに比べて他の生き物も産みやすくなることを意味します。

今回の講座ではトンボの生態や観察・採集の歴史、トンボを守る環境保全の工夫について専門家がお話します。トンボを通して身近な自然を知る新たなチャンスです！

【主な内容】

- ◎トンボってどんな昆虫？
- ◎愛媛のトンボ、久万高原のトンボ
- ◎美しい！トンボの採集
- ◎採集するコツ
- ◎トンボってなにを食す？
- ◎トンボの多様性が意味するもの
- ◎トンボとの関わりと今後の展望



- ◎日 時：平成 30 年 9 月 19 日（水）19:00～20:20
- ◎場 所：久万高原町産業文化会館 研修室
（住所／上津六郎久万高原町久万 188）
- ◎講 師：武智 礼央さん（日本トンボ学会会員）
- ◎参加費：無 料
- ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2138

参加申込票（FAX用）

以下に必要事項をご記入の上、博物館までFAXください。1日1名1組の個人情報は厳正に管理し、印刷・中止など本事業に際するご連絡にのみ使用させていただきます。また、第二欄に欄外 印刷することはありません。

参加者氏名	
住所	住所宛名までがよいません。
電話番号	

【平成30年度 面河山岳博物館・夜の講座】

ハエトリグモの話

～つぶらな瞳のハンター、その素顔～



クマカサハエトリグモ



カサハエトリグモ



マホカハエトリグモ

講義では、ハエトリグモの生態やその魅力、種々のコツ、管理見聞のエクササイズなどについて専門家にお願いいたします。そう、あなかはきっとハエトリグモの虜になってしまいます！

- ◎日 時：平成30年10月13日(土) 19:00～20:20
- ◎場 所：久万高原駅やまなみ2階・研修室(上野川町久万高原町202-3)
- ◎講 師：須黒 達巳さん(鹿沼農協総合会館長、日本樹生学会評議員)
 筑波大卒。2007年からハエトリグモの研究をスタート。熊土里を母体、日本産のハエトリグモを全種採集する夢を掲げてフリーター。2年間はハエトリグモに全霊を注ぎ、その後専業としての職を得て今に至る。ハエトリグモハンドブックの著者。
- ◎参加費：無 料
- ◎申 込：面河山岳博物館まで氏名・住所・連絡先をお知らせください。
電話：0892-58-2130 FAX：0892-58-2136

参加申込票 (FAX用)

以下に必要事項をご記入の上、事務局までFAXください。1名につき個人情報は返却に不要。返却・中身は必ず本事務局に関するご連絡のみに使用させていただきます。また、第三者に開示・提供することは致しません。

参加者氏名 ()

住所 () 市・町 電話番号 ()

【平成30年度 面河山岳博物館・夜の講座】

古い絵葉書とパンフレットでたどる 面河溪の観光開発



昭和12年ごろの面河溪

明治より世に知られるようになった歴史ある面河溪。面河溪、奥州に入るとも、国立公園に指定され、多くの観光客でにぎわっていました。

今回の講座では観光開発の歴史を、昭和初期以降に発行された絵葉書やパンフレットなどで辿っていきます。歴史を紐解いていくことで、これからの面河地域の観光の進むべき道を探ってみませんか！



昭和40年代の面河溪 (国産紙)

★お願い!

面河に囲まれた古山絵葉書やパンフレット、写真などはお持ちの方は、ご持参ください!!

当日は入場料、講師料は原則として無料です。当日会場での申し込みも受付可能(要予約)です。

- ◎日 時：平成30年11月30日(金) 19:00～20:10
- ◎場 所：久万高原町面河支所2階会議室(久万高原町京草2431)
- ◎定 員：40名(会場サイズ5cm以上車立5名、もしくは入場できる場合もあります。)
- ◎講 師：面河山岳博物館学芸員
- ◎参加費：無 料
- ◎申 込：面河山岳博物館まで氏名・住所・連絡先をお知らせください。
電話：0892-58-2130 FAX：0892-58-2136

参加申込票 (FAX用)

以下に必要事項をご記入の上、事務局までFAXください。1名につき個人情報は返却に不要。返却・中身は必ず本事務局に関するご連絡のみに使用させていただきます。また、第三者に開示・提供することは致しません。

参加者氏名 ()

住所 () 市・町 電話番号 ()

平成 31 年度

【面河山岳博物館・夜の講座(共催)愛媛県生物多様性センター】

愛媛の外来生物

外来生物とは、元々その地域にはいなかったのに、人間活動によって外国や国内の他の地域から持ち込まれた生物をいいます。現在、日本に2000種を超える外来生物が生息しているといわれています。そのうちアライグマやカワサキカメ、ウシガエルなど約150種が生息。人の健康そして森林水産業に重大な影響を及ぼす種として「特定外来生物」に指定されています。

この講座では愛媛県内で問題になっている代表的な外来生物について、その生態や生息状況、愛媛の自然や私たちの生活への影響などをテーマに、分かりやすくお話しします。知らない個体に誤った存在になりつつある種らについて学んでみましょう!

【内容】

- 愛媛の特定外来生物について
- どんなところに生息、何を食べる?
- 私たちの生活にどのような影響があるのか?
- この川に入ってくるかもしれない種
- 外来生物を防いだら? ほか



- ◎日 時：令和元年5月28日(火)19:00～20:15
- ◎場 所：久万高原町産業文化会館研修室(〒791-0183 愛媛県久万高原町188)
- ◎講 師：村上 裕さん(愛媛県生物多様性センター企画課長)
- ◎参加費：100円
- ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX：0892-58-2136

参加申込票 (FAX用)

以下に必要事項をご記入の上、事務局までFAXください。1名につき個人情報は返却に不要。返却・中身は必ず本事務局に関するご連絡のみに使用させていただきます。また、第三者に開示・提供することは致しません。

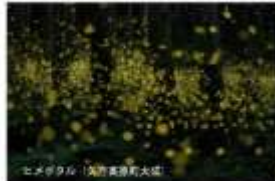
参加者氏名	
住所	住所欄名まででお知らせください。
電話番号	

【面河山岳博物館・夜の講座】

カメラがとらえた愛媛と久万高原の ホタルと星空

標高500～2,000m近くまでの範囲に位置する久万高原町。町りの少ない山奥から見える星空は絶景の美しさです。6月中旬ごろには、標高500～600m山頂の気候で、グンシホタルやヒメホタルとの共演も納まります。

この講座ではプロの昆虫写真家をお招きし、愛媛と久万高原町で見られる美しいホタルの生態と星空の撮影を専門的知識と共に紹介いたします。撮影技術の解説、そして撮影時のマナーもお話しさせていただきます。



ヒメホタル(久万高原町大畑)



北ノノリホタルとベリカシ星雲(久万高原町高尾山頂)

- ◎日 時：令和元年6月11日(火)19:00～20:15
- ◎場 所：久万高原町産業文化会館研修室(住所：上野川町久万高原町202-3)
- ◎参加費：100円
- ◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX：0892-58-2136

講師：北浦伸夫さん

【経歴】1978年東京生まれ。1999年東京大学卒業。日本写真家協会会員。昆虫が大好き。虫と自然をテーマに、愛媛県久万高原町を拠点、F&Sという写真家集団、F&Sプロジェクトを推進。F&Sプロジェクトの代表者。F&Sプロジェクトの代表者。

参加申込票 (FAX用・0892-58-2136)

以下に必要事項をご記入の上、事務局までFAXください。1名につき個人情報は返却に不要。返却・中身は必ず本事務局に関するご連絡のみに使用させていただきます。また、第三者に開示・提供することは致しません。

参加者氏名	
住所	住所欄名まででお知らせください。
電話番号	

【面河山岳博物館・夜の講座】

久万高原の無居住化集落の話

～人が減って変わる自然 どうなる？どうする？～

2004年8月に久万高原町が誕生して、今年で15年。その間、人口は約3,000人減少しています。年々によっては思いやらないままに減っている方も多くいらっしゃるのでは？国の統計では2050年までに現在の居住地域の約2割が人の住まない「無居住化」になると予測されています。これらの地域では山林や農地の維持管理の放棄による里地山域の荒廃が懸念されています。自然環境がさまざまな影響を与え始めていると考えられます。

この講座では筑波大学で環境デザインを専門にされている藤原先生をお招きし、栗郷と久万高原で起こっている無居住化の現状やその自然への影響を解説します。

【内容】

- ・無居住化とは？
- ・栗郷と久万高原の無居住化背景
- ・無居住化の新しい風景とは？
- ・無居住化による自然への影響
- ・無居住化は止まるか？止めるべきか？



◎日 時：令和元年10月30日（水）19：00～20：15

◎場 所：久万高原町産業文化会館研修室（住所／上野村久万高原町久万188）

◎講 師：遠藤敬造さん（筑波大学社会共創学部教授）

◎参加費：100円

◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX：0892-58-2136

参加申込票（FAX用）

以下に必要事項をご記入の上、博物館までFAXください。申し込みは個人署名は必要としません。住所・中とご同様に必ずしもご住所のみの記入はかまいません。また、申し込みの受付終了後はご住所の記入は必須です。

参加者氏名	
住所	〒〒〒まででかまいません。
電話番号	

【面河山岳博物館・夜の講座】

くらしの中のヘビ

～嫌われもの？神様？切っても切れない人とヘビの繋がり～

皆さんは「ヘビ」と聞くとどのような印象を持ちますか？「怖い」「気持ち悪い」「不潔」と思える人が大半だと思いますが、「かつこいり」「おもしろい」「神様」と感じている人も少いでしょうか。昔からその姿や動きから神様と結びつけられて、一方で神が怖いや、水虫や蛇に刺らば命を失うと恐れられて、古くから畏れられていることも事実です。ヘビに対する「怖い」や「嫌い」を忘れた昔の神・やまは、あつまるものごころを築き、現代の私たちのくらしに深くかかわっています。

この講座では元画家の郷土こし協力隊員が、久万高原町に生息するヘビの種類や生態を話し、神とヘビの関わり、くらしの中のヘビについてお話しします。これを機に、ヘビにも怖いものごととヘビが別になるはず！

【内容】

- ・久万高原の生息するヘビ
- ・ヘビのくらしについて
- ・ヘビが怖いのはなぜ？
- ・成神になった久万高原の神様
- ・成神を祀るくらしの神話について



◎日 時：令和元年11月26日（火）19：00～20：15

◎場 所：久万高原町産業文化会館研修室（住所／上野村久万高原町久万188）

◎講 師：山路 俊子（面河山岳博物館職員 地域おこし協力隊員）

◎参加費：100円

◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX：0892-58-2136

参加申込票（FAX用）

以下に必要事項をご記入の上、博物館までFAXください。申し込みは個人署名は必要としません。住所・中とご同様に必ずしもご住所のみの記入はかまいません。また、申し込みの受付終了後はご住所の記入は必須です。

参加者氏名	
住所	〒〒〒まででかまいません。
電話番号	

【面河山岳博物館・夜の講座】

鉱物入門

～鉱物採集の楽しみ～

子供から大人まで、男性も女性もみんな大好き鉱物。関東や関西の身近な鉱物からレアものまで、コレクションの目標で鉱物の楽しさや集める楽しさなどを増やしていただきます。お話を聞いて採集の楽しさを知りたい方、野外で鉱物採集をやってみよう、ぜひ、ご参加ください！

【内容】

- ・鉱物って何？
- ・鉱物の種類について
- ・身近な鉱物、レアな鉱物
- ・鉱物を採集してみよう！
- ・これが鉱物愛好者のくらしだ！



◎日 時：令和元年12月4日（水）19：00～20：15

◎場 所：久万高原町産業文化会館研修室（住所／上野村久万高原町久万188）

◎講 師：西尾 亜二さん（鉱物石の会幹事）

◎参加費：100円

◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX：0892-58-2136

参加申込票（FAX用）

以下に必要事項をご記入の上、博物館までFAXください。申し込みは個人署名は必要としません。住所・中とご同様に必ずしもご住所のみの記入はかまいません。また、申し込みの受付終了後はご住所の記入は必須です。

参加者氏名	
住所	〒〒〒まででかまいません。
電話番号	